

よこはまの 地区社協活動

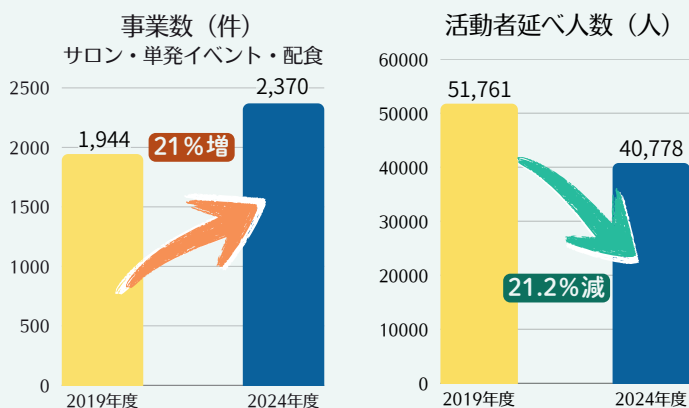
2026年(令和8年)2月発行
2024年地区社協状況書より



地区社協は、「自分たちの地域は自分たちで良くしていこう」という思いから生まれた、住民による自主的な集まりです。「一人ひとりの困りごとをみんなで支え合える地域」を目指して地区内の福祉に関わる団体や施設が会員となり、ネットワーク組織として活動しています。



事業数と活動者数の推移



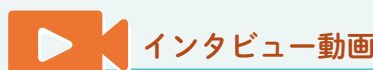
事業数は21%増加 / 活動者数は21.2%減少

新型コロナ流行前の2019年度と2024年度を比べると、地域活動の事業数は全体で21%増えている一方で、延べ活動者数は21.2%減少していることがわかりました。

地区社協へのヒアリングでは、担い手の高齢化や固定化、新しい人とのつながりが減っているといった課題が多く聞かれました。

なお、前年度との比較では活動者数は8.6%増加しており、各地区で新たな仲間と出会うための様々な工夫が行われている様子も見られました。

新たな仲間と出会うための各地区の工夫



地域活動に関わったきっかけ・
新たな人と出会うコツや工夫！

横浜市社会福祉協議会WEBサイトへ→



各地区の工夫が...



誰かに届いた！



地域の中にいる、色々な思いや特技を持っている人と出会うために、「アンケート調査」をしました！



子育て世代

子どもが小さい頃に子育てサロンにお世話になったので、恩返しをしたいと思います。無理のない範囲で活動しています！



自治会役員として地区社協に関わった人に、「任期が終わっても、もう少し地区社協に関わってくれない？」と直接、声をかけてみました！



働き世代

自治会役員として、関わっている時から地域の雰囲気も良く、声をかけられたときも違和感なく入っていけました。今は、イベント時の焼きそば担当として楽しく参加しています！



子どもたちに福祉や地域活動に興味を持ってもらうために、毎年ジュニアボランティア(活動)を実施しています！



大学生

子どもの頃にジュニアボランティアに参加しました。成長するにつれて福祉について興味が湧いて、今は地区社協の広報紙の作成をお手伝いしています！

組織構成

地区社協は、このような仲間
構成されています！

全地区社協のうち99%が、「住民活動・福祉関係
団体」が構成メンバーとなっています。

続いて、福祉施設やボランティアなど
も大きな役割を担っています。

今後は、さらにネットワークを
広げるため、学校や当事者団体、
NPO等との連携が鍵となりそう
です。



構成メンバー（団体種別） 2024

1 住民活動・福祉関係団体 (自治会町内会、民生委員児童委員協議会等)	99%
2 福祉施設	72%
3 ボランティア	69%
4 子育て団体	65%
5 学校・教育関係	50%
6 当事者団体	11%
7 福祉事業団体（NPO等）	11%
8 その他 (自主防犯・消防組織、医療機関、企業等)	54%

話し合い

地域で暮らす人々の生活の様子や活動に関わる
人たちの気づきを「みんなで共有し、話し合う」
ことは、地区社協ならではの大切な活動です！

2024年度には、地区社協が主催した話し合いが **5,109回**、
他団体主催の話し合いへの参加は、**14,408回**にのぼりました。
地域の課題や暮らしの工夫を分かち合い、協力し合う場が年々
広がっています。



特に、他団体の話し合いの場への参加は
2019年度と比べて約1.6倍に増えており、
地域のネットワークが広がっています。

地区社協主催の話し合いの数	1地区平均
2024年度	5,109回 / 20回
2023年度	4,945回 / 19回
2019年度	4,899回 / 19回

他団体主催の話し合いへの参加数	1地区平均
2024年度	14,408回 / 56回
2023年度	13,013回 / 51回
2019年度	9,004回 / 35回

事業

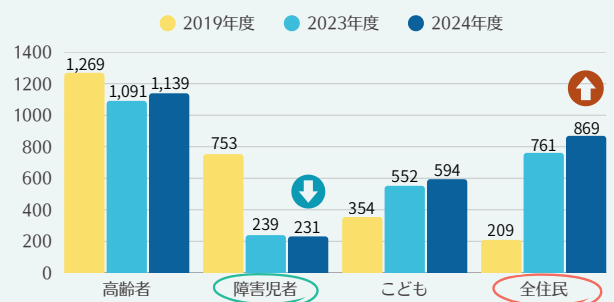
地域では、住民やさまざまな団体が力
を合わせて、居場所づくりや交流の場
を少しずつ広げてきています！

	総事業数	居場所・ サロン	交流・単発 イベント	配食
2024年度	2,370 ↑	1,410 ↑	871 ↑	89 ↓
	前年度比 +167	前年度比 +105	前年度比 +63	前年度比 -1
2023年度	2,203	1,305	808	90
2019年度	1,944	1,102	756	86

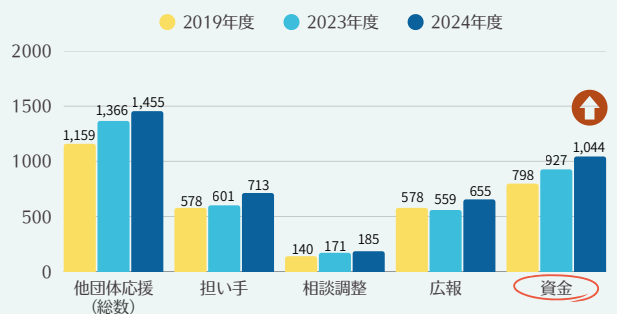
対象者別で見ると、地域の誰もが参加できる「全住民向
け」の事業が増えてきています。

また、**他団体を応援する取組**が増えており、中でも資金
面での応援は、他の助成金の対象となりにくい草の根的な
地域の活動を支援する地区社協ならではの取組です。

対象者別推移



他団体応援 内容別推移



横浜市内256地区社会福祉協議会

横浜市内18区社会福祉協議会・横浜市社会福祉協議会

発行元：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL：045-201-8616 FAX：045-201-1620



このリーフレットは、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。